

# Student Activities

## 活躍した学生たち



### ナガサキ・ユース代表団

2018年4月から5月上旬にかけて、「ナガサキ・ユース代表団」の第6期生8名が、ジュネーブで開催された「2020年NPT（核不拡散条約）再検討会議第2回準備委員会」へ参加しました。現地では、委員会の傍聴や各国の政府関係者との対談、自作のショートフィルムの上映など、精力的に活動しました。帰国後は、写真展の開催や全国の教育機関への出前講座を行い、自らの経験を多くの人に共有しています。

### 多文化社会学部生がベトナムの「長崎くんち 御朱印船」公演に参加

2017年11月、多文化社会学部生が中心となって活動している国際交流サークル「ふくろう」は、長崎県派遣団の一員として、「御朱印船プロジェクト」に参加しました。日本とベトナムの交流促進などを目的として、ホイアン市で「長崎くんち 御朱印船」の公演を行うプロジェクトです。ホイアンは、江戸時代初期に日本人町が存在し、長崎とも歴史的なつながりの深い街で、今回のプロジェクトで新たなつながりがまた始まりました。



### よさこい部「突風」 YOSAKOIさせば祭りで大賞

よさこい部「突風」が、2018年10月19～21日に開催された「第21回YOSAKOIさせば祭り」で大賞及び青春グランプリYOSAKOIソーラン祭会長賞を受賞しました。西日本最大級のイベントで大賞を受賞するのは、9年ぶり3度目の快挙です。代表の宮崎健太朗さん（教育学部3年）は、「一人ひとりが輝けるように心がけて取り組んできたことが、観ていただいた方々に伝わった」と喜びを語りました。

### ながさき海援隊 平成30年度ボランティア活動奨励賞を受賞

海岸清掃のボランティア活動を行っている「ながさき海援隊」が、公益社団法人長崎ボランティア振興基金から、平成30年度ボランティア活動奨励賞を受賞しました。県内から4団体が表彰され、海援隊のほか、地域で長年活動している団体が3組表彰されました。その中で、「ながさき海援隊」は、若者のボランティア活動として地域社会に大きく貢献した功績が認められたの受賞となりました。



### 長崎ブレイクスルー

「長崎ブレイクスルー」は、29の企業が新興アジアを中心としてグローバル展開に活路を見出すため、長崎県下11の大学と長崎県、産業界が協力のもと、約100名の学生が19のプロジェクトに分かれ、事業化を検討し、具体化を進めているプロジェクトです。2018年4年には、「長崎ブレイクスルー+」として一般社団法人化、同年8月には一部の学生を海外に派遣し、海外インターンシップを行い、海外の課題やニーズの現地調査、分析を行いました。2019年3月には、学生による「長崎創発」グローバル投資コンペ「ビジネスくんち」を開催し、成果を発表しました。



### NPO法人 Slopeers (スローピアーズ)

長崎を盛り上げようと、経済学部約30名の学生が、NPO法人「Slopeers」を立ち上げ、活動しています。坂の街である長崎の魅力を紹介する修学旅行のプランの企画や、学生目線のカフェ紹介サイトの運営など、大学で学んでいる経済の知識や理論を実践し、「みんなに愛される長崎県」の実現を目指しています。



### 「水産学部学友会と海洋研究会」が国土交通大臣表彰を受賞

水産学部学友会と水産学部海洋研究会が平成30年「海の日」海事関係功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。水産学部学友会と海洋研究会は、漂着ごみの問題を機に、平成9年から海浜清掃活動を毎年行っており、現在では夏季と秋季の年2回、水産学部生60人～100人が参加して長崎市近郊の海水浴場で清掃を行っています。同賞は長年にわたり実施している海浜清掃活動が継続的に環境美化に貢献していると評価され、授与されたものです。

